

2007年10月2日

福嶋祐介追悼記念セミナー  
-雪崩運動シミュレーション技術を掘り下げる-

趣 旨

前長岡技術科学大学教授 福嶋祐介 は、2006年1月、54歳の生涯を閉じた。福嶋は水理学・雪氷学の研究者として数知れないほどの研究業績を残した。その中でも、もっとも輝きを放っているのは雪崩運動のシミュレーションモデルに関する業績である。その研究成果は流体力学の最新の知識を網羅し、厳密な研究展開であり、国際的にも高く評価された。

福嶋は、雪崩運動の研究に最後まで情熱を注いだ。しかし、彼の研究成果は現在、実用的に言えば一般的ではない。また、彼自身も自覚していたように、解析手法として未解決な面・限界もあった。

福嶋の没後一周年を迎えるこの機会に、このような点を深く掘り下げ、福嶋とともに議論をするのがこの追悼セミナーの趣旨である。

本趣旨からして主題は雪崩運動シミュレーション及びその応用である。したがって本セミナーでは少数の話題提供者の下、長時間にわたる討論を設けるものとする。

主 催：長岡技術科学大学、雪氷学会雪崩分科会、NPO法人 水環境技術研究会

後 援：防災科学研究所 雪氷防災研究センター

発起人：早川典生（NPO法人 水環境技術研究会）、細山田得三（長岡技術科学大学）

上石 勲（防災科学研究所雪氷防災研究センター）、西村浩一（新潟大学理学部）、  
大沢範一（長岡技術科学大学大学院生 東京建設コンサルタント）

日 時：2007年12月19日（水）13:00～17:00

会 場：長岡技術科学大学マルチメディアセンター

プログラム

・第一部 研究発表

発表者（確定者4名、ほか募集中）

早川典生（NPO法人 水環境技術研究会）

上石 勲（防災科学研究所雪氷防災研究センター）

西村浩一（新潟大学理学部）

大沢範一（東京建設コンサルタント、長岡技術科学大学大学院生）

・第二部 アクションプラン策定会議

第一部の発表を踏まえて今本セミナーの趣旨のために何をなすべきかを討論する。

プロシーディングの発行

本セミナーの終了後適当な時期に（第二部で議論予定）プロシーディングを発行、参加者に配布します。

## 福嶋祐介追悼記念セミナー発表者・参加者募集中

本セミナーの趣旨に沿った発表者を募集します。発表者は雪崩運動のシミュレーション技術とその応用に関するトピックを議論するものとし、必ずしも福嶋の業績そのものの議論にこだわるわけではありませんが、少なくとも話題の一部として福嶋の業績を議論していただくことは必要であると考えます。話題提供者に応募する方は、10月22日までに参加申込書に名前、所属、題名、連絡先をご記入のうえ、eメールかFAXで、セミナー事務局までお申込ください。また、発表のあるなしにかかわらず参加者を募集します。参加申し込み締め切りは11月12日（月）といたします。

参加費：500円（プロシティング作成費用として）

懇親会：セミナー終了後懇親会を開催します。会費は、一般5000円、学生2000円

申込締切：話題提供者 → 2007年10月22日（月）

参加者 → 11月12日（月） ※締切日にご注意ください！

問合せ先：福嶋祐介追悼記念セミナー事務局

NPO法人 水環境技術研究会（担当：阿部）

新潟県長岡市草生津3-5-25 株式会社エコロジーサイエンス内

TEL：0258-39-4007

FAX：0258-39-4006

abe@za.wakwak.com

## 記入欄

お名前	
所 属	
連絡先住所	
T E L	
F A X	
メールアドレス	
題 名	

※この欄は、話題提供者のみご記入ください。

※ご記入いただきました内容につきましては、追悼記念セミナーに使用するもので、それ以外には使用しません